

研究分野のキーワード：キャリア教育，キャリア・カウンセリング，キャリア発達，
生き方，進路指導

研究紹介

私の研究分野は，キャリア教育（キャリア・カウンセリング）です。近年，フリーターやニートの問題をはじめ，新規学卒就職者の早期離職（職場不適應）や社会人としての資質やマナーの低下などの問題がクローズアップされています。こうした状況や背景のなかで，学校教育に求められているのは，子どもたちに将来の夢や希望を育むきっかけを与えることであると思います。キャリア教育の本質は，生き方の教育であり，子どもたちに，社会に出てからの人生をどう生きるか，そのために何をすべきかを気づかせ，主体的に学ぶ意欲や態度を高めることにあります。

■ キャリア教育の課題

① キャリアの概念を再確認すること：キャリアは，過去・現在・未来を所有する個人の動的プロセスの強調だけでなく，視野範囲（内容）においても，「職業」から「人生・生き方」という視点に拡大され，より包括的になっています。したがって，時間的にも空間的にも広範なキャリア・モデルに基づき，「生きること」「働くこと」「学ぶこと」への関心・意欲・遂行力，および3つの活動の融合化（有機的連関）を支援していくことが必要です。

② キャリア教育の効果を検証すること：キャリア教育の推進によって，児童・生徒・学生は変わったのか。すなわち，キャリア教育の効果を検証することが必要です。キャリア教育は，児童・生徒・学生のキャリア発達の促進を目標にしています。したがって，キャリア発達の程度・水準・進行状態（キャリア成熟）の測定・評価を実施するなど，キャリア教育の効果を検証する。

■ キャリア教育で育む人間像を明確にし，創造的キャリアの支援をめざす

子どもたちが将来，社会で生きていくためには，単に教科の内容を学習するだけではなく，社会で自立（自律）していくために何を，どのように学ばなければならないのかを支援していくことが重要であり，社会にもっと目を向けるようにしなければならないと思います。社会に出る準備をさせることが学校本来の役割であるとするならば，進学や就職に関係なく，将来の社会人・職業人として生きていくために必要な能力・資質などを育成しなければなりません。子どもたちが「生きる力」を身につけて，自分の人生の主人公として，未来を主体的に創造していくことができるよう，キャリア教育の一層の充実が望まれます。